大阪外国語大学グリークラブ

創部93年記念演奏会

2020年1月25日㊏

13:00開場 / 13:30開演

旧東京音楽学校奏楽堂

主催：大阪外国語大学グリークラブOB合唱団　後援：咲耶会（大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会）

93年のあゆみ

大阪外国語學校（大阪外国語大学）グリークラブは1926年4月に部員20数名で誕生しました。學校が1921年12月9日に大阪市東区（現天王寺区）に創立され、翌年11月11日に開校して3年半後のことです。創部翌年の宝塚音楽協会主催の第1回合唱競演会で3位入選し、1929年にはクラブソングGAIGO WILL SHINE TONIGHTが歌われ始め、1931年には後の大作曲家清水脩（フランス語科）が第5代指揮者に就任するなど、創部当初から活発に活動しています。

戦中の活動記録は有りませんが、戦後は終戦の翌々年（1947年）に活動を再開。一時的（1948年～1950年）に混声合唱団であった時期を経て、1957年に念願の第1回定期演奏会を開催。以降1998年まで毎年定期演奏会を開催し（計41回）、その他の演奏活動も行ってきました。しかし、大学全体での長年の恒常的な男子学生の減少により、1998年に学生現役のグリークラブは活動休止（休部）のやむなきに至りました。

OB有志は、懐かしい歴史と伝統、外語ハーモニーを少しでも長く繋ぎ続けたいとの強い思いで、東京（1995年）、大阪（2001年）にOB合唱団を結成し、指導者に林誠、小貫岩夫、坂井美樹の各先生をお迎えし、演奏活動を続け、メンバーを徐々に増やしながら現在に至りました。仕事を抱えながら或いは仕事を卒業して再びグリークラブに戻ってきた者たち、また別の環境から新たに加わった仲間たちで、外大らしさを保ちながらもさらに一歩上を目指して練習に励んでいます。

母校大阪外国語大学が2007年10月1日に大阪大学と統合した後も、私たちOB合唱団は大阪外国語大学のフルネームを掲げて活動を続けています。2016年には創部90周年記念演奏会（大阪・東京）の開催、2018年には創部90周年記念誌の発行を行っています（「大阪外国語大学グリークラブ創部90周年記念誌」のサイト（http://oufs-glee-90th.heavy.jp）をご参照ください）。2021年には創部95周年記念、2026年には100周年記念として、それぞれ大阪と東京で記念演奏会を開催する予定です。

本日は、ご縁があって、清水脩大先輩の第二の母校である旧東京音楽学校の奏楽堂で創部93年記念演奏会（東京）開催の運びとなりました。

創部90周年記念演奏会　写真上：大阪公演2016年11/13　写真下：東京公演2016年12/3

ご挨拶

大阪外国語大学グリークラブ創部93年記念演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。本日、重要文化財である旧東京音楽学校奏楽堂で演奏できることを光栄に思っております。といいますのも、我がグリークラブの大先輩（第5代指揮者）であり、「日本合唱音楽の父」とも呼ばれる清水脩は、大阪外国語學校フランス語科卒業後、東京音楽学校（専科）に進み、奏楽堂展示室にある「東京音楽学校年表」にも清水脩の名前が刻まれているからです。

本日は、私たちが愛してやまなかった曲目と新たな挑戦ともいえる曲目を演奏いたします。第１ステージは、現役時代のすべての定期演奏会で演奏し、演奏曲目数が延べ281曲にのぼっている黒人霊歌です。まさに外語グリーの大切なレパートリーといえます。

第2ステージは清水脩の「大手拓次の三つの詩」です。私たちは清水脩を先輩に持つことを誇りとし、多くのステージで清水脩作品を演奏してきました。41回の定期演奏会でも26回にわたって清水脩作品を演奏しています。また、OB合唱団でも、創部80、85、90周年と節目となる演奏会では必ず清水脩作品を取り上げてきました。

第3ステージのロシア民謡も私たちにとって愛唱歌ともいえる存在です。41回の定期演奏会のうち10回にわたってロシア民謡を演奏しています。難解なロシア語をロシア語学科卒業のメンバーの指導の下、ロシア民謡独特の味を出すように頑張って歌います。

そして、第4ステージがグスタフ・マーラーの「さすらう若人の歌」です。福永陽一郎が素晴らしい男声合唱曲に編曲しており、私たちにとって新しいジャンルの合唱曲ですが、皆さまに楽しんでいただけるよう演奏したいと思っています。

最後になりましたが、本演奏会開催にあたり惜しみないご協力をいただきました関係者のみなさまに心より御礼申し上げます。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大阪外国語大学グリークラブOB合唱団（東京）
幹事団代表　西村信勝

男声合唱の醍醐味は、無伴奏のア・カペラだ。どこにいても、楽器が無くても、酒を飲んでいても…４人集まればいつでもハモれる。その楽しみにどっぷりとハマり、幾年月。ずーっと歌い続けている人も、ブランクを経て再開した人も、先輩も後輩も、集まれば自然と歌い出す。今日の演奏会では、ピアノ伴奏付きのマーラーにチャレンジする外語グリー。今までとは一味違う一面を見せてくれるはずだ。お得意のア・カペラも楽しみだ。でも終演後は…やはり酒を飲んで歌うのだろう。一番嬉しそうな笑顔で…。

指揮　小貫岩夫

本日はおめでとうございます。演奏会のこの日を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。去る11月に皆さんは大阪で演奏されました。その時の喜びや達成感、反省点などを持って、もう一度演奏できることはなんて素晴らしいことでしょうか。音楽を深めようと努力する姿勢や、音楽への情熱には頭の下がる思いです。練習の指導をしていて、皆さんの情熱がどこから来るのか不思議に思ったことがあります。月に三度の練習、飲み会、どこを取っても楽しそうですが、それだけではないようです。皆さんで集まれば、あっという間に学生の時に戻るのです。年齢も違うにもかかわらず、学生の時の思い出とともに楽しんでいるようなのです。見た目はただのナイスミドルですが、中身は違います！ほとばしる情熱に満ちた若者なのです。願わくは、今日の演奏が若々しく情熱溢れる演奏となりますように。

指揮　坂井美樹

Program

Gaigo Will Shine Tonight / Varsity　指揮：安良雄一

第1ステージ

黒人霊歌　指揮：坂井美樹　ピアノ：土井あかね　朗読：野間口貴子

1. Were You There?
   編曲：Harry T. Burleigh
2. I Hear a Voice A-Prayin'
   編曲：Houston Bright
3. Nobody Knows de Trouble I See
   編曲：Leonard de Paur
4. Keep in the Middle of the Road
   編曲：Marshall Bartholomew
5. Ev'ry Time I Feel the Spirit
   編曲：William L. Dawson

第2ステージ

男声合唱組曲「大手拓次の三つの詩」　指揮：小貫岩夫

詩：大手拓次　作曲：清水 脩

1. とじた眼に
2. みずいろの風よ
3. しろい火の姿

（　休　憩　）

第3ステージ

ロシア民謡　指揮：坂井美樹

1. ともしび（Огонёк）
   作詩：ミハイル・イサコフスキー　作曲：不詳
2. 赤いサラファン（Красный сарафан）
   作詩：ニコライ・G・ツィガーノフ　作曲：アレクサンドル・E・ヴァルラーモフ
3. ヴォルガの舟歌（Эй, ухнем）
   作詩・作曲：不詳
4. バイカル湖のほとり（По диким степям Забайкалья）
   作詩・作曲：不詳
5. カリンカ（Калинка）
   作詩・作曲：イヴァン・ペトロヴィチ・ラリオーノフ

第4ステージ

男声合唱とピアノのための「さすらう若人の歌」

指揮：小貫岩夫　ピアノ：多田聡子
作詞・作曲：Gustav Mahler　編曲：福永陽一郎

1. 彼女の婚礼の日には
   (Wenn mein Schatz Hochzeit macht)
2. 朝の野原を歩けば
   (Ging heut' morgen übers Feld)
3. 燃えるような短剣をもって
   (Ich hab' ein glühend Messer)
4. 彼女の青い眼が
   (Die zwei blauen Augen von meinem Schatz)

黒人霊歌

黒人霊歌は、元々黒人奴隷の労働歌や宗教歌など口承民謡であったものが、南北戦争で解放された奴隷たちの歌が採譜され、記録されたのが始まりです。1870年ごろナッシュビルの黒人大学が資金集めのために学生合唱団、のちのフィスク・ジュビリー・シンガーズを組織し、世界各地を演奏旅行、好評を博したことから、黒人霊歌は世の人々の知るところとなりました。その後、黒人音楽としてはより世俗的なラグタイムやジャズ、ブルースが広まり、黒人霊歌は下火となりました。それがアメリカ黒人音楽の原点として再登場するのは、20世紀初頭になって、正規の音楽教育を受けた黒人音楽家が輩出し、クラシック音楽の手法で合唱に編曲したり、教会音楽に取り入れ始めてからです。本日もドーソンなど当時の黒人音楽家が編曲した作品を歌います。大阪外国語大学グリークラブは1957年7月の第1回定期演奏会から40年に亘り、毎年欠かさず黒人霊歌を歌い続け、OB合唱団となっても節目の演奏会では必ず取り上げており、黒人霊歌は当合唱団のアイデンティティと言っても過言ではありません。

1. Were You There?

日本の讃美歌21にも収録される有名な黒人霊歌です。イエスが全人類の罪を背負って十字架に架けられたとき「あなたはそこにいたのか？」 逃げ回ってそこにいなかったのではないか？ いたとしても無力な傍観者に過ぎなかったのでは？　はたまたイエスの処刑に喝采をおくっていたのでは？　二千年の時空を超えて十字架のイエスと対峙する、自分自身への内なる問いかけ、Were you there? のフレーズが繰り返し鳴り響きます。

2. I Hear a Voice A-Prayin'

最後の審判の日に、人々が祈り、泣き叫ぶ声、それが聞こえてくる気がして、思わずわが身を振り返る、死んだら何処へ行くのだろうと恐れおののき、最後の審判の日を迎える用意はできているだろうか、と不安に襲われ、「神よ、私の魂をお救いください」とすがってしまう。死を現世の苦しみから逃れる救済と信じつつ、自分は果たして天国に行けるだろうかと不安に苛まれる心境を、黒人霊歌らしくテンポよく歌います。

3. Nobody Knows de Trouble I See

「誰も知らない私の悩み」という邦題で有名な黒人霊歌ですが、私の「苦しみ」をイエス様以外は誰も知らない、と歌っています。情景としては、とうもろこし畑にポツンと掘っ立て小屋のような黒人教会、「グローリィ・ハレルヤ　神に栄光あれ」と皆が讃美歌を歌う中、ひとりの黒人が貧しく苦労の多い自らの人生を振り返り、まるでイエス様に話しかけるように、心のなかでつぶやく、その独白をテナーソロが歌い上げます。

4. Keep in the Middle of the Road

「右にも左にも迷い出てはならない、あなたの足を悪から離れさせよ」(旧約聖書箴言第4章より)、神の道から外れるな、という戒めの言葉がモチーフです。まるで人生の歩みのごとく表題フレーズがうねるようにリピートされる中、ベースが「よそ見するな！」、他が「右に！」、「よそ見するな！」、「左に！」と掛け合いでシャウト、「天使が白い門にいるぞ」、「金の門に目は釘付け」、「疲れた、天使の羽がほしい」と道中模様が軽快に綴られていきます。

5. Ev'ry Time I Feel the Spirit

熱烈に歌うコーラスは、神のメッセンジャーである聖霊が心に憑依した喜びを表現しています。一方、ベースソロが歌うのは、奴隷の逃亡を暗示する歌です。19世紀前半、逃亡奴隷援助の秘密組織「地下鉄道」がありました。南部奴隷州からオハイオ川を越えて北部自由州に逃亡するのを幇助する組織です。歌詞の“炎と煙を口から吹き出す神”は機関車、“ヨルダン川”は渡れば自由になれるオハイオ川、“天国との間を往復する一台きりの列車”は「地下鉄道」を意味し、黒人霊歌には珍しく、現世での救いへの希望を歌います。

大手拓次の三つの詩

大手拓次　作詩
清水　脩　作曲

清水脩が大手拓次の詩集「藍色の蟇（ひき）」を読んで作曲した合唱曲のうちの最初の作品です。1960年、名古屋の男声合唱団「東海メールクワイアー」の委嘱により作曲され、同年9月に初演されました。その後、40を超える男声合唱団で全3曲あるいは一部が演奏されています。

1. とじた眼に

うすうすにとじた　わたしの眼に、
とおい日の　あなたのすがたがうつる。
かげになりゆく　とおい日の
そらいろのすがたが　うつる。
こえをおさめた　小鳥のように
そよかぜに　ながれさる。

2. みずいろの風よ

かぜよ、
松林（しょうりん）をぬけてくる　五月の風よ、
うすみどりの風よ、
そよかぜよ、　そよかぜよ、　ねむりの風よ、
わたしの髪を　なよなよとする風よ、
わたしの手を　わたしの足を
そして夢におぼれるわたしの心を
みずいろの　ひかりのなかに　覚（さ）まさせる風よ、
かなしみと　さびしさを
ひとつひとつ消してゆく風よ、
やわらかい　うまれたばかりの銀色の風よ、
かぜよ　かぜよ、
かろくうずまく　さやさやとした海辺（うみべ）の風よ、
風はおまえの手のように　しろく　つめたく
薔薇（ばら）の花びらのかげのように　ふくよかに
ゆれている　ゆれている、
わたしの　あわいまどろみのうえに。

3. しろい火の姿

わたしは　日のはなのなかにいる。
わたしは　おもいもなく　こともなく
時の流れにしたがって、
とおい　あなたのことに　おぼれている。
あるときは　ややうすらぐようにおもうけれど、
それは　とおりゆく　昨日のけはいで、
まことは　いつの世に消えるともない
たましいから　たましいへ　つながってゆく
しろい　しろい　火のすがたである。

作詩者：大手拓次（1887－1934）

大正－昭和時代前期の詩人。早大在学中からボードレールに傾倒。北原白秋主宰の「朱欒（ザンボア）」などに耽美、幻想の独自の口語象徴詩を発表。萩原朔太郎、室生犀星とともに白秋門下の三羽烏とよばれた。48歳にて死後、詩集「藍色の蟇（ひき）」などが刊行された。群馬県出身。（講談社デジタル版 日本人名大辞典+Plusより引用）
大阪外国語大学グリークラブは 1970年の第14回定期演奏会で大手拓次作詩、清水脩作曲の男声合唱組曲「薔薇の散策」、1975年の第19回で大手拓次作詩、青木八郎作曲の同「薔薇のあしおと」を演奏している。

作曲者：清水脩（1911－1986）

1931年度の大阪外国語學校グリークラブ第5代指揮者。
大阪市天王寺区の真宗大谷派「佛足寺」で生まれ、少児時に得度。八尾中学校を経て、大阪外国語學校フランス語科入学、グリークラブで活躍。大阪外国語學校卒業後、東京音楽学校（現東京藝術大学）専科で作曲を学ぶ。最初の受賞作は管弦楽「花に寄せたる舞踏組曲」（1939年）。 戦後直ぐ全日本合唱連盟創設に参画（1946年）。男声合唱組曲「月光とピエロ」の中の「秋のピエロ」は第1回全日本合唱コンクールの課題曲（男声）（1948年）として作曲された。1950年～1953年、東京男声合唱団の指揮者を務めた後は作曲活動が主体となった。カワイ楽譜社長、全日本合唱連盟理事長、日本合唱協会代表などを歴任。400曲以上にのぼる作品は、合唱曲、歌曲、オペラ、仏教曲、邦楽、管弦楽曲など極めて多彩で、我が国屈指の作曲家のひとりに位置付けられている。また多くの男声合唱曲の作曲と合唱活動への貢献により、「日本の合唱の父」として称賛されている。第1回芸術選奨（1951年）、芸術祭管弦楽曲部門 第1回尾高賞（1953年）、毎日音楽祭賞、舞踊ペンクラブ賞、紫綬褒章（1975年）、勲四等旭日小授賞（1982年）などを受賞。（大阪外国語大学グリークラブ90年史などより引用）

3/ロシア民謡

戦後の日本で流行した「ロシア民謡」には、シベリア抑留から帰国した音楽家たちが持ち帰ったロシアの大衆歌謡も加わり、帝政ロシアのはやり歌もソ連時代の戦時歌謡も含まれました。うたごえ運動や歌声喫茶を通じて歌われたロシアの歌が、より広く受け入れられた要因にはメロディだけでなく日本語の訳詩の存在がありました。戦後日本の社会状況にあわせつつ原詩の内容も伝えようという翻訳者の思いが、日本人の好むロシア民謡への変容につながったと考えられます。本日は、ロシア語と日本語でロシア民謡をお届けします。

1. ともしび（Огонёк）

ベラルーシ出身の詩人ミハイル・イサコフスキーの1942年作のこの歌は、娘が戦地に赴く兵士を見送る内容の戦時歌謡です。同じ作詩者による「カチューシャ」とともに最も流行りました。「カチューシャ」の作曲者ブランテルなど当時の多くの作曲家がこの詩に曲をつけましたが、後世まで歌い続けられたメロディーは今日演奏するもので、作曲者は特定できないままとなっています。

2. 赤いサラファン（Красный сарафан）

ニコライ・G・ツィガーノフの1832年の詩にアレクサンドル・E・ヴァルラーモフが1834年に作曲した楽曲です。結婚に乗り気でない娘とそれをさとす母親との対話で、原詩は1番から10番までとなっています。1番から5番までは娘、6番から10番は母親の台詞です。

3. ヴォルガの舟唄（Эй, ухнем）

1861年頃に採譜され、1866年に出版されたロシア民謡です。原曲の題名でもある「エイ、ウフニェム」は間投詞「エイ」＋動詞一人称複数現在形「ウフニェム」であり、「エイ、ウフの掛け声をあげよう」の意味です。このフレーズを修飾する副詞句「イスチョー・ラージク、イスチョー・ダ・ラス」（もう一度、もう一度）に続く「ラーゾヴォム・ムィ・ベリョーズ」「ラーゾヴォム・ムィ・クリャーブ」は、いずれも動詞一人称複数現在形＋人称代名詞（一人称複数）＋名詞（目的語）で、「結んだ白樺の枝をわしらは巻き解こう」「茂った枝をわしらは巻き解こう」という意味です。農閑期に出稼ぎで船曳人夫をするロシアの農民は、地元では開墾のために「仕事の歌」（ロシア語原曲名ドゥビーヌシカ）のリフレーン部分でも「エイ、ウフニェム」と歌い、樫の木などの堅い木（ドゥビーヌシカ）を引き抜きますが、ヴォルガ河では柔らかい枝が茂ったままの白樺の木を船底と砂地の間の水に差し込んで離礁させる作業を繰り返します。囃子詞「アイダダアイダ」はタタール語ですが、ロシア人もよく使う間投詞で「行こう、行け」の意味です。

4. バイカル湖のほとり（По диким степям Забайкалья）

曲がよく知られるようになったのは1900年初頭ですが、1880年代には存在していたロシア民謡です。外バイカル地方（バイカル湖の東岸以遠）の金鉱で流刑人だった男が逃亡者となり、両肩に袋を背負い、しなびた靴で脚をいため、湯沸かしをぶら下げた姿で密林をくぐりぬけてようやくバイカル湖にたどり着き、対岸まで小舟で渡り、母親のもとになんとかたどり着こうとする歌詞が9番まで続きます。

5. カリンカ（Калинка）

作曲家であり文学者であり民俗学者でもあるイヴァン・ペトロヴィチ・ラリオーノフがロシア民謡風に作詞・作曲をした1860年の作品で、赤い実の灌木カリンカを花嫁にたとえた婚礼の祝い唄です。有名な歌手で合唱団創設者のスラヴァンスキーが気に入り、この曲をレパートリーに入れたことで、曲が世間に知られるきっかけとなりました。ソ連時代に「アレクサンドロフ歌と踊りのアンサンブル」（日本では赤軍合唱団と呼ばれる）の主要レパートリーとなり世界的に有名となりました。囃子詞「アイ・リュリ、リュリ、アイ・リュリ、リュリ」は間投詞で「ああ素敵だ、素敵だ、ああ素敵だ、素敵だ」の意味です。

4 さすらう若人の歌

Gustav Mahler 作詞・作曲
福永 陽一郎 編曲

マーラー 24歳の時（1885年）、彼自身の若き日の失恋体験を基にバリトン独唱のために作詞・作曲されたもので、本日は、福永陽一郎が男声合唱用に編曲したものを演奏します。

1. 彼女の婚礼の日は

愛する人が嫁ぐ日、彼女は幸せそうだけれど、僕にとっては、悲しみの日だ。僕は暗い部屋に閉じこもって愛しい人を思って泣いた。小鳥は「青い花よ、しおれるな！　なんてこの世は美しい」と歌っている。僕にとって、春はすでに過ぎ去ったのだ！　鳥よ、歌うな！　花よ、咲くな！　ああ、何という苦しみ！

2. 朝の野原を歩けば

僕は野原に出て行き、美しい自然に自分を合わせようとする。小鳥も釣鐘草の花も「この世はなんて素敵なんだ！」と語りかけてくる。ところが、我に戻り、Nein nein（いや、いや）と辛い自分を思う。

3. 燃えるような短剣をもって

心の激しい動揺の歌。「僕の胸に燃え立つ剣が突き刺さっている」 O weh!, Oweh!（ああ、苦しい！）僕が空を見上げると、彼女の青い瞳が浮かんでいる。風に吹かれるブロンドの髪を見る。夢から醒めると、彼女の笑い声を聞く。O weh!, O weh!（何という苦しみ！　黒い棺の中に横たわって、永遠に眼を開かずにいられたらいいのに！）

4. 彼女の青い目が

僕は夜中に恋人と訣別して、さすらいの旅に出る。Ade（さよなら）を言ってくれる人もなしに！　僕を救うのは、道端に立つ一本の Lindenbaum(菩提樹)。花の散る下で、僕は初めて安らぎと眠りを得る。人の世の仕打ちを忘れて、愛も苦しみも、この世のものすべてが美しくなった。この世の夢も Alles! Alles!（みんな、みんな）

解説：松岡一仁（大阪外国語大学グリークラブOB合唱団（大阪）指揮者）

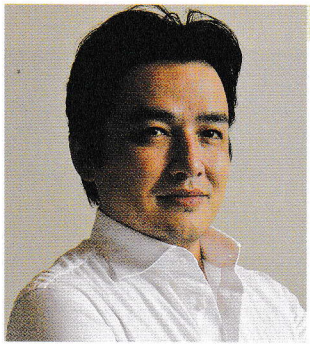
作詞・作曲者：グスタフ・マーラー（Gustav Mahler）（1860－1911）

ボヘミア生まれ。オーストリアの作曲家、指揮者。
ウィーン音楽院在学中、ピアノで２度、作曲で１度賞を受賞。1880年最初の大作、独唱・合唱と管弦楽のための「嘆きの歌」を完成。その後指揮者としての活動を始め、1883～1885年カッセルの宮廷劇場指揮者、1886～1888年ライプツィヒ歌劇場指揮者を経て、1897年ウィーン宮廷歌劇場、ウィーン・フィルハーモニーの各指揮者に就任し、主にワーグナーとモーツァルトの作品で斬新な演出と舞台装置でオペラを上演。1907年に渡米し、同年メトロポリタン歌劇場指揮者、1909年ニューヨーク・フィルハーモニック管弦楽団指揮者を歴任。1911年心臓病の悪化により帰国し、同年死去。歌曲と交響曲作品に優れ、ウィーン古典派の伝統に基づくとともに、その伝統を新しい角度から見直して斬新な音楽的世界を開拓し、シェーンベルクらの新ウィーン楽派への道を切り開いた。歌曲「少年の魔法の角笛」（1888年）、交響曲第8番「千人の交響曲」（1906年）、６楽章の独唱付き交響曲「大地の歌」（1908年）等がある。（20世紀西洋人名事典より引用）

編曲者：福永陽一郎（1926－1990）

昭和期の音楽評論家、ピアニスト。元・藤原歌劇団常任指揮者。兵庫県神戸市に生まれる。
関西学院、西南学院を経て、東京音楽学校に入学。同校を中退して近衛秀麿に師事。1952年～1967プロ合唱団東京コラリアーズ常任指揮。1960年～1971年藤原歌劇団常任指揮。卓抜なピアノ伴奏で「フィガロの結婚」「カルメン」など数多くのオペラ初演を実現した。（20世紀日本人名事典より引用）

Profile



小貫岩夫 *Iwao Onuki*（指揮）

同志社大学神学部卒業。同志社グリークラブに所属し、福永陽一郎指揮のもと数々のステージで活躍。その後大阪音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第11期修了。数々のコンクールで優勝・入選する。95年「魔笛」タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムと共演しデビュー。翌年ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場より招聘を受け同役で出演する。98年より文化庁派遣でミラノへ留学。2000年新国立劇場デビューを飾ったのち、様々な舞台で活躍。2013年には天皇皇后両陛下（当時）御親覧のチャリティ・ボールで御前演奏を行い、お言葉を頂いた。二期会会員。

坂井美樹 *Miki Sakai*（指揮）

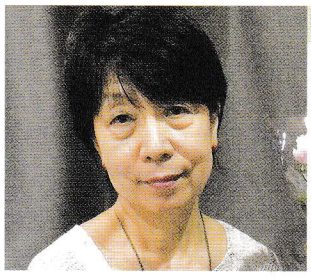
大阪音楽大学音楽学部声楽専攻首席卒業。同大学院オペラ研究室修了。1999年にイタリアミラノに留学。モーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」のスザンナ役の他、様々なオペラに出演。特に故岩城宏之指揮、黛敏郎作曲のオペラ「金閣寺」（女役）は東京・大阪で公演され、全国放映された。また桂小米朝（現5代目米團治）とともにオペらくごにも出演。その他多くのコンサートに出演。細川維、高須礼子、田原祥一郎、ブルーノ・ダル・モンテ、ビアンカ・マリア・カゾーニ、田中千都子、マウロ・アウレーリオの各氏に師事。二期会準会員。

多田聡子 *Satoko Tada*（ピアノ）

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中より器楽・声楽を問わず内外の著名な演奏家と共演を重ね、卒業年度より同大学声楽科にて伴奏助手を務める。 宮内庁主催皇居桃華楽堂御前演奏会に出演。ジャンルにとらわれないユニークな演奏活動では「X-JAPAN」YOSHIKIのピアノを個人指導し、NHKホール、日本武道館、東京ドームにて共演。ソリストを支える共演者として特に声楽の分野で定評があり、テノール小貫岩夫のリサイタルでも度々共演。東京藝術大学非常勤講師。

土井あかね *Akane Doi*（編曲・ピアノ）

京都出身。大阪外国語大学モンゴル語科卒業。在学中からのバンド活動をきっかけに2004年ピアノソロでインディーズデビュー。現在、ピアニスト、コンポーザー、アレンジャー、サポートミュージシャン、スタジオミュージシャンとして活動中。自らの制作・演奏活動を続けるとともに、ボーカリストやソロアーティストの伴奏、バンドマスター、作品アレンジなどを多く務める。2015年シンガポールの国際音楽学校 Play By Ear Music Schoolのコラボレーションアーティストとして活動開始。近年では即興演奏においても高い評価を得ている。



野間口貴子 *Takako Nomaguchi*（朗読）

津田スクール・オブ・ビズィネス卒業。外資系企業でさまざまな部署を経験し、キャリアを積む。退職後、語学を活かせる東京都観光ボランティアとして活動を開始、外国からの訪問者が東京観光を楽しむことができるようにサポートを行っている。この活動を通じて、自分自身も多くのことを学ぶだけでなく、新たなことにチャレンジする楽しさも感じている。

本日の出演者

Top Tenor

伊東 昭廣（1967）　西村 信勝（1967）　板村 哲也（1969）　柳楽 行雄（1970）
小竹 正幸（1971）　山下 均（1974）　五十嵐 強（1979）　永谷 勉（1981）
中平 悟*（1981）　保川 一治（1984）　戸田 貴之（1992）

Second Tenor

西沢 毅彦（1963）　赤城 一宇（1965）　鈴木 惟司（1968）　弥勒 誠之（1968）
柳沢 長四郎（1970）　松岡 一仁（1971）　竹尾 彰（1972）　加藤 直樹（1973）
勝原 尚実（1976）　杉本 啓一郎（1980）　稲積 和典（1992）

Baritone

河盛 龍三（1959）　小笠原 肇（1963）　新出 武雄（1963）　西川 哲朗（1965）
岸田 勝昭（1967）　藤田 梧朗（1967）　浜崎 慎吾（1969）　鵜飼 茂（1971）
高島 志信*（1975）　奥村 秀策*（1976）　岸本 保（1979）　正木 啓（1982）
西山 恭介（1986）　松村 尚人（1987）　福田 洋之（1994）　表 昇平（2007）

Bass

村主 寧民（1963）　大井 耐三（1969）　梶江 靖史（1969）　真鍋 一史（1970）
南 雄次（1971）　八木 哲夫（1973）　新谷 昭一（1979）　米野 勝（1979）
伊藤 道彦（1980）　片川 徳明（1980）　山内 清之（1982）　山口 伸（1984）
安良 雄一（1989）　松尾 年展（2000）

註１　カッコ内は卒業年度
註２　卒業年度が同年の場合には「あいうえお順」で記載
註３　＊印は友情出演　高島さんと奥村さんは大阪男声合唱団、中平さんは東京甲陵会合唱団に所属

♪一緒にハモりませんか♪

毎月３回、東京の八丁堀で練習をおこなっています。今年11月1日（日）には大阪男声合唱団（阪大OB合唱団）等とジョイントコンサートを企画しています。また、来年はグリークラブ創部95周年記念演奏会を迎え、大先輩清水脩作品や黒人霊歌を演奏します。私たちと一緒にハモりませんか。大阪外大グリークラブ出身者かどうかは問いません。現在のメンバーにもOB以外の方々がいらっしゃいます。
ご興味のある方は下記のメールアドレスまでお気軽にご連絡ください。

gaigoglee@b01.itscom.net（大阪外国語大学グリークラブOB合唱団）

創部95周年記念演奏会のお知らせ

2021年秋に「大阪外国語大学グリークラブ創部95周年記念演奏会」を開催いたします。

皆様のご来場をお待ちしております。